

第1回 戦没者遺骨収集における同位体分析の活用に係る検討会
ワーキンググループ

議事次第

日 時：令和4年12月27日（火）10：00～11：30

場 所：オンライン会議

議 題

- 1．ワーキンググループ設置の経緯及び今後の進め方
- 2．同位体分析結果の検証等
- 3．その他

資 料

- ・【資料1】戦没者遺骨収集における同位体分析の活用に係る検討会ワーキンググループについて
- ・【資料2】同位体分析結果等について
- ・【参考資料】開催要綱及び構成員名簿

戦没者遺骨収集における同位体分析の活用に係る検討会 ワーキンググループについて

1. 趣旨・背景

戦没者遺骨収集を計画的かつ着実に推進するための目標を定めることを目的として開催された「戦没者の遺骨収集の推進に関する検討会議」における中間とりまとめ(令和元年8月2日)では、「新たな鑑定技術の応用に向けた研究の推進、遺骨収集を行う相手国等との協力関係の構築」について、その必要性を指摘されており、特に同位体分析等に関しては、米国国防総省捕虜・行方不明者調査局(DPAA)との協力をさらに推進することも重要とされている。

戦没者遺骨鑑定における同位体分析について、現在は

- ・放射性炭素同位体を用いた年代測定は、沖縄・古墓由来遺骨かどうかを判定するために試行的に実施
- ・炭素と窒素の安定同位体比を用いた食性分析は、年代測定の予備検査として試行的に実施

という段階である。

今後、米国 DPAA と同位体分析に関する協力関係を推進すること、さらに、遺留品や形質鑑定、DNA 鑑定結果等に加えて同位体分析に関する結果を所属集団判定の参照情報として用いることの検討を進めるためには、これまで試行的に実施し得られた結果について、専門家による検証を通じてデータの透明性を確保する必要がある。

このため、昨年度開催した検討会の下に、個別具体的な分析手順・データ検証等を目的としたワーキンググループを設置し、同位体分析結果について、

- ・実測値の生データ、標準作業手順や試験法の手順を検証
- ・現在の知見から導かれる判断根拠や将来的課題

を議論する。

2 . 当面のスケジュール (案)

令和4年12月 ワーキンググループの設置

- ・ 同位体分析に関する分析手順の確認
- ・ 個別事例から得た実測値データ等の確認等

令和5年3月まで目処

- ・ 本ワーキンググループにおける指摘事項の確認
- ・ 追加分析・検証の必要性の検討

令和5年度

- ・ 同位体分析結果の検証終了
- ・ 標準作業手順や試験法の手順の検証終了・取りまとめ

戦没者遺骨収集における同位体分析の活用に係る検討会の開催について

1．目的

戦没者遺骨収集において収集した遺骨の年代測定・所属集団判定のために同位体分析を活用する具体的方法や、活用にあたっての課題等を議論・検討するために、援護担当の大臣官房審議官のもとで「戦没者遺骨収集における同位体分析の活用に係る検討会」（以下「検討会」という。）を開催する。

2．構成

- (1) 検討会の構成員は別紙 1 のとおりとする（同位体分析の専門的知識を有する者）。
- (2) 検討会に座長を置き、座長は援護担当の大臣官房審議官が指名する。
- (3) 検討会の下に、別紙 2 のとおり、分析手順・データ検証等を目的としたワーキンググループを開催する。

3．運営

- (1) 検討会は、原則としてWeb会議形式で開催する。
- (2) 検討会は、公開することにより率直な意見の交換が損なわれるおそれがあるため非公開とする。
なお、検討会終了後、可能な範囲で資料を公表し、議事要旨をホームページにおいて公開する。
- (3) 検討会の庶務は、社会・援護局事業課戦没者遺骨鑑定推進室において行う。

4．その他

このほか、検討会の運営に関し必要な事項は、座長が援護担当の大臣官房審議官と協議の上、定める。

戦没者遺骨収集における同位体分析の活用に係る検討会 構成員

(五十音順、敬称略)

がくはり 覚張	たかし 隆史	—	金沢大学国際文化資源学研究所助教
そめだ 染田	ひでとし 英利		社会・援護局事業課鑑定調整室事業専門官 (併)防衛医科大学校防衛医学研究所付 (兼)琉球大学非常勤講師
たやす 陀安	いちろう 一郎	—	総合地球環境学研究所 研究基盤国際センター 教授
よねだ 米田	みのる 穰	—	東京大学 総合研究博物館放射性炭素年代 測定室教授

注 1) は座長

注 2) は、分析手順・データ検証等のワーキンググループ構成員

戦没者遺骨収集における同位体分析の活用に係る検討会
分析手順・データ検証等のワーキンググループ構成員

(五十音順、敬称略)

がくはり 覚張	たかし 隆史	金沢大学国際文化資源学研究センター助教
たやす 陀安	いちろう 一郎	総合地球環境学研究所 研究基盤国際センター教授
よねだ 米田	みのる 穰	東京大学 総合研究博物館放射性炭素年代測定室教授

注) は座長